

1

(一) 烏山停車場線 那須烏山市南

事業名	快速で安全な道づくり事業
路線名	一般県道 烏山停車場線
全体計画	延長 L=180m 幅員 W=14.2m 事業費 C=340万円 (令和3年度～)

本区間は、ユネスコ無形文化遺産に認定された山あけ行事が開催されるシンボルのな路線であるにもかかわらず、電柱や架空線が景観を妨げ、都市防災の観点からも影響を与えております。

そのため、快速で安全な道路環境の創出を目的として、電線類の地中化、歩道のリアプリー化を推進しています。

令和7年度は、用地取得を実施します。

3

(主)那須烏山御前山線 那須烏山市上境

事業名	快速で安全な道づくり事業
路線名	主要地方道 那須烏山御前山線
全体計画	延長 L=840m 幅員 W=7.5m 事業費 C=405百万円 (令和2年度～)

本区間は、第2次緊急輸送道路に指定されていますが、車道幅員も狭く、線形が屈曲しているため、見通しが悪くすれ違い困難な状況です。

そのため、平常時・災害時を問わず、安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保を目的として、道路拡幅事業を推進しています。

令和7年度は、昨年度に引き続き用地取得及び道路改良工事を実施します。

現況

5

(主)宇都宮那須烏山線 那須烏山市泉町交差点

事業名	快速で安全な道づくり事業
路線名	主要地方道 宇都宮那須烏山線
全体計画	延長 L=230m 幅員 W=12.0m 事業費 C=590百万円 (令和4年度～)

本区間は、第3次緊急輸送道路に指定されているが、本交差点周辺には災害時の拠点施設や避難場所も立地し、緊急車両の通行を確保すべき重要な区間となっているもの、車道幅員が狭く、緊急自動車等の通行に支障をきたしている状況です。

そのため、緊急時を念めた道路の安全性や利便性の向上を図ることを目的とし、本交差点の改良を行っています。

令和7年度は昨年度に引き続き用地取得を

整備イメージ

7

(都)3・5・2号 山手通り 那須烏山市屋敷

事業名	街路づくり事業
路線名	那須烏山市計画道路 3・5・2号 山手通り
全体計画	延長 L=600m 幅員 W=15.0m 事業費 C=1,113百万円 (令和6年度～令和12年度)

本区間の周辺には、公共施設や観光施設が立ててあり、賑わいある市街地を形成するうえで重要な路線となっています。また、小中学校および高校の通学路となっており、歩道は狭狭歩道が未整備の区間もあり、歩道の通学通園時間帯を中心に危険な状況となっています。

そのため、道路拡幅および歩道整備を行い、併せて電線共同溝の整備により無電柱化することで、災害時の救援車両の安全な通行および、誰もが安心して利用できる道路づくりを推進しています。

令和7年度は、用地取得を行います。

現況

とちまるくん
からすやまどぼく ver.

1 : 70,000

0 700 1400 2100 2800 3500m



9

荒川(塩谷) 那須烏山市三箇

事業名	安全な川づくり事業
箇所名	一級河川 荒川(塩谷)
全体計画	延長 L:約3,800m 事業費 C:約2,916百万円 (令和5年度～令和24年度)

本区間は、河槽の不足のため、令和元年東日本台風により、堤防の決壊や越水等の被害を受けました。

そのため、氾濫防止を目的として、河槽拡大や護岸整備事業を推進しています。

令和7年度は、河道掘削工事を実施します。

10

大平I-B 那珂川町大内

事業名	急傾斜地崩壊対策事業
箇所名	大平I-B
全体計画	崩壊土砂防護柵 L=143m 事業費 C=約312百万円（令和4年度～）

本地区は急傾斜地であり、斜面の崩壊により、公的建築物である大内郵便局のほか人家や国道461号に著しい被害を及ぼす恐れがあります。

そのため、急傾斜地の崩壊による災害から人々などを守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、防護柵工事を推進しています。

令和7年度は、崩壊土砂防護柵工事を実施します。

現況

11

新屋敷三号沢 那須烏山市大木沢

事業名	事業間連携砂防等事業
箇所名	新屋敷三号沢
全体計画	砂防堰堤 N=2基 事業費 C=400百万円（令和2年度～）

本地区は、土砂災害警戒区域に指定されており、土砂流が発生した場合、下流に位置する人家や地域の避難場所等に被害を及ぼす恐れがあります。

そのため、災害から人々を守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、砂防堰堤の整備を推進しています。

令和7年度は、砂防堰堤工事を実施します。

整備状況

12	城間I-C 那珂川町松野	
	事業名	急傾斜地崩壊対策事業
	箇所名	城間I-C
	全体計画	補強土擁壁工 L=68.8m 事業費 C=100百万円(令和5年度～令和7年度)

令和6(2024)年度の主な成果 Major Achievements

13 荒川(塩谷) 那須烏山市向田、小倉・藤田

事業名	災害復旧助成事業
河川名	一級河川 荒川(塩谷)
全体計画	延長 1=5,900m 事業費 〃=6,337百万円(令和1年度~令和6年度)

本区間は、令和元年10月の台風第19号による記録的な大雨に見舞われ、堤防の決壊や越水が発生し、家屋の浸水等、甚大な被害が発生しました。

こうした中、本工区では局部的な原形復旧では再度被災する可能性が高いことから、堤防の嵩上げ等による改良復旧事業を導入し、令和7年1月に竣工、災害に強く県民の命と暮らしを守る社会資本の整備を推進しました。

完了完了

14 行人塚峠IーA

那須烏山市小木須

事業名 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名 行人塚峠IーA

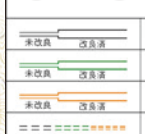
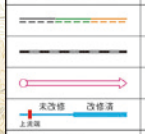
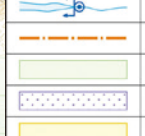
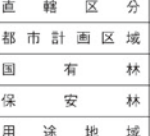
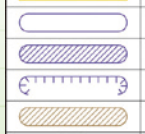
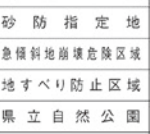
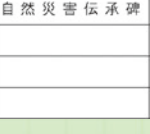
全体計画 法面工 A=1891㎡ グラバノアカー工 N=27本
事業費 C=272百万円（令和2年度～令和6年度）

完了状況

本地区は急傾斜地であり、斜面の崩壊により要配慮者利用施設に著しい被害を及ぼす恐れがある状況でした。

そのため、急傾斜地の崩壊による土砂災害から施設を守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、斜面対策を実施しました。

令和6年11月に事業が完了したことにより、急傾斜地の崩壊から要配慮者利用施設を守り、安全を確保することができました。

	凡	例	
	一般国道	市役所	
	主要地方道	町役場	
	一般県道	学校	
	計画道路	橋梁	
	通行不能道路	関係官庁	
	JR鉄道	信号板(電光式)	
	都市計画道路	通行規制(手動式)	
	一般河川	駅の駅	
	直轄市区	ポケットパーク	
	都市計画区域	塚	
	国営林	塚	
	保安林	CCTV	
	用途地	埼玉県警 埼玉県警 埼玉県警	
	砂防指定地	災害対策本部	
	急傾斜地崩落危険区域	国管 国管 国管	
	地すべり防止区域	国管 国管 国管	
	県立自然公園	国管 国管 国管	
	自然災害伝承碑	国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	
		国管 国管 国管	